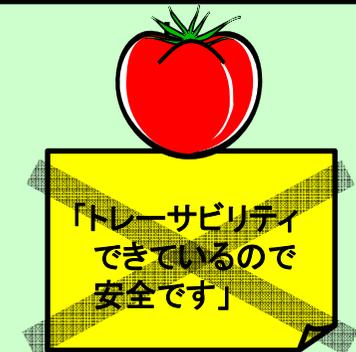


# トレーサビリティとは

トレーサビリティは、食品がどこから来てどこへ行ったかわかるようにするもの

【定義】「生産、加工及び流通の特定の一つまたは複数の段階を通じて、食品の移動を把握できること」  
(Codex, 2004)

あくまで食品の移動を追跡できるようにしておくことであり、そのことで直ちに食品の安全が確保されるものではない

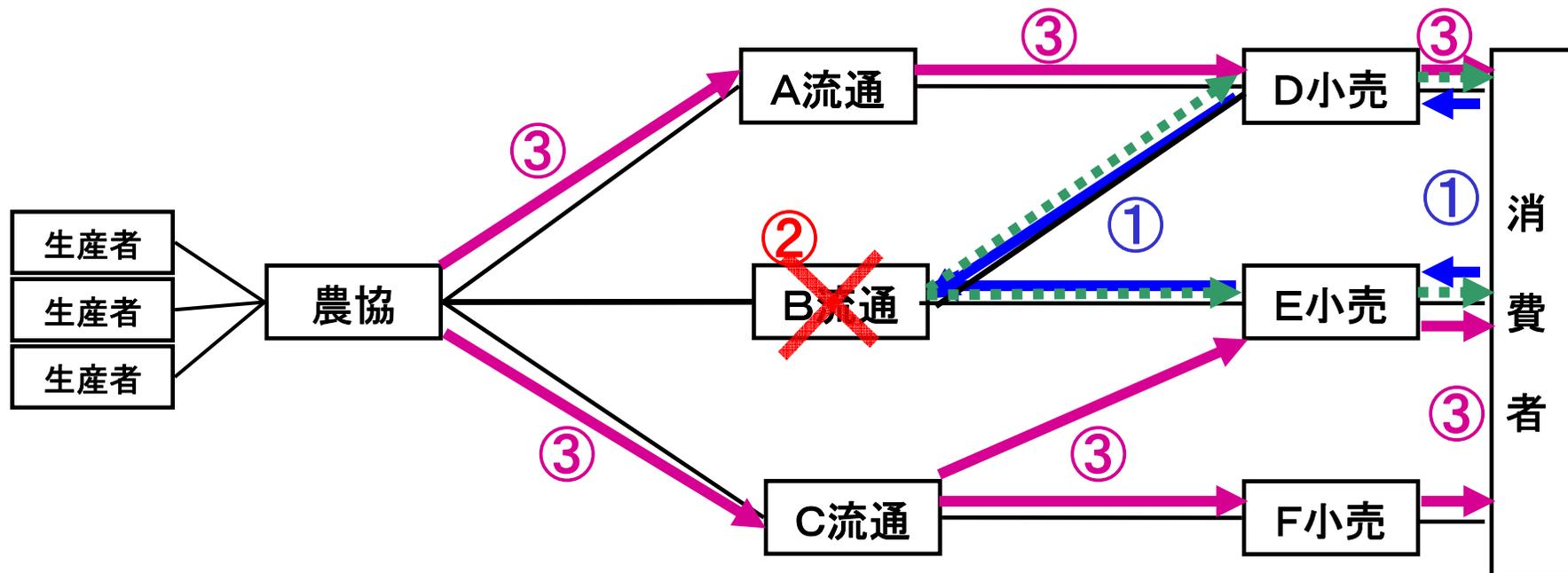


# トレーサビリティの効果

・問題が発生した際に、

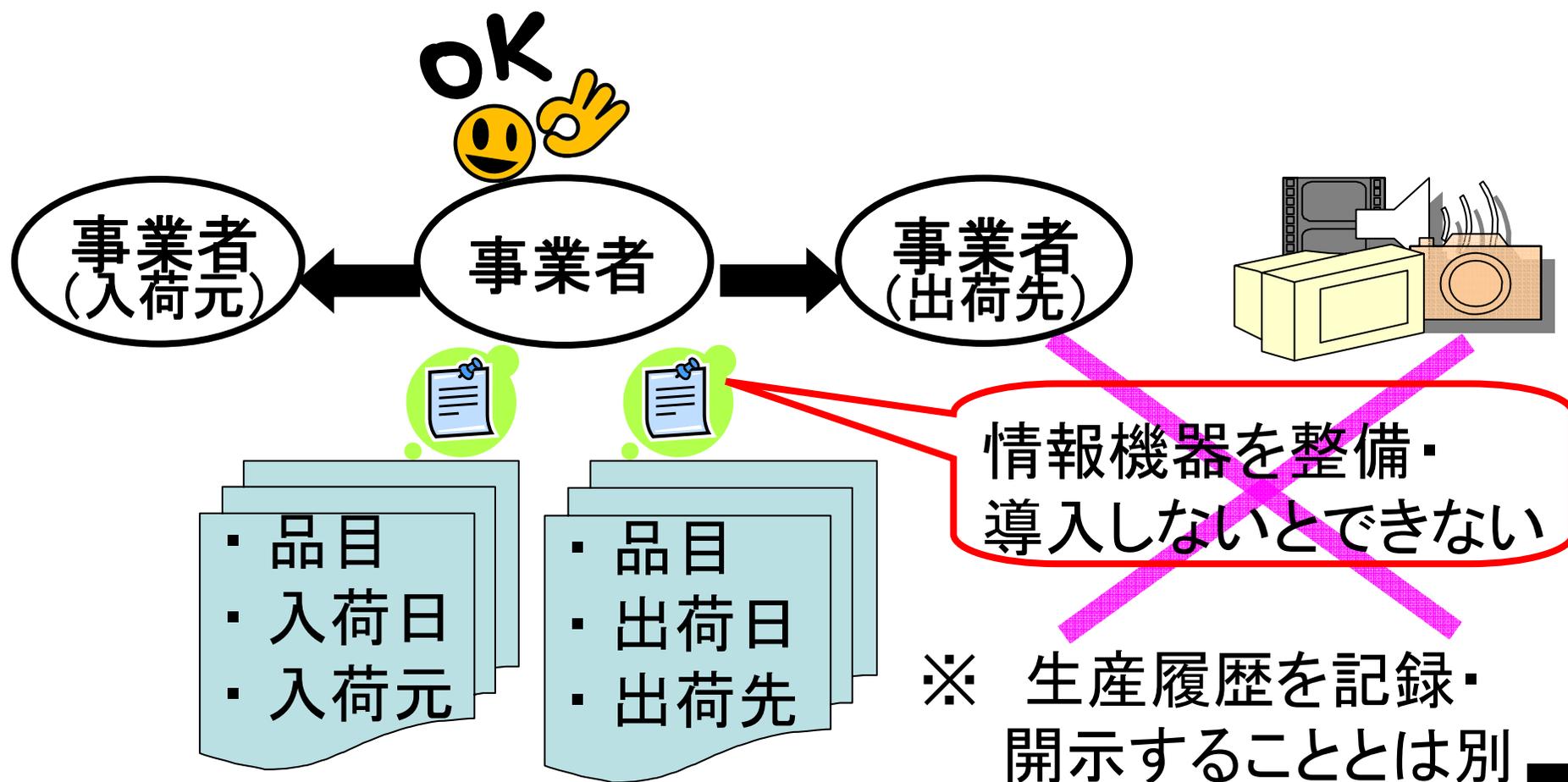
- ① 商品を特定した迅速な回収
- ② 問題の発生箇所の速やかな特定
- ③ 安全な他の流通ルートを確認し、安定的に供給

(事故発生前の取引ルート ..... )



# トレーサビリティに取り組むためには

個々の生産者・食品事業者が、何を、いつ、どこから入荷し、何を、いつ、どこへ出荷したかを入出荷時に記録・保存たとえば、伝票の保存や荷受情報の記帳など



# (既存の伝票の例)

## 仕入伝票

No. 123456

納入先

Aスーパー 様

納品日

08年8月8日

取引先

(有)B商事

コード	品名	クラス	発注数	数量	原単価
	きゅうり(群馬県)		30	10 kg	〇〇
	トマト(長野県)		20	5 kg	△△
	ピーマン(宮崎県)		10	3 kg	××
	トマト(宮崎県)		70	7 kg	☆☆
	レタス(香川県)		20	2 kg	□□
	たまねぎ(兵庫県)		20	10 kg	※※

## まとめ

---

### 1. 食品のトレーサビリティとは何か？

食品がどこから来てどこへ行ったかわかるようにするもの

### 2. その効果は何か？

問題が発生した際、商品特定した回収、問題の発生箇所特定、安全な流通ルート確保等に効果

### 3. 取り組むには、何をすればよいのか？

個々の生産者・食品事業者が、何を、いつ、どこから入荷し、何を、いつ、どこへ出荷したかを記録・保存